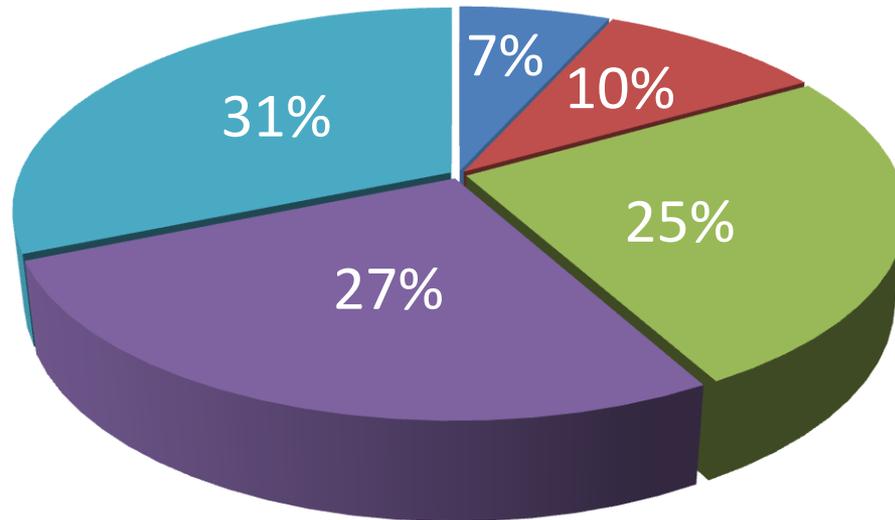


NE介護度別割合 (2012.3)

■ 要介護1 ■ 要介護2 ■ 要介護3 ■ 要介護4 ■ 要介護5

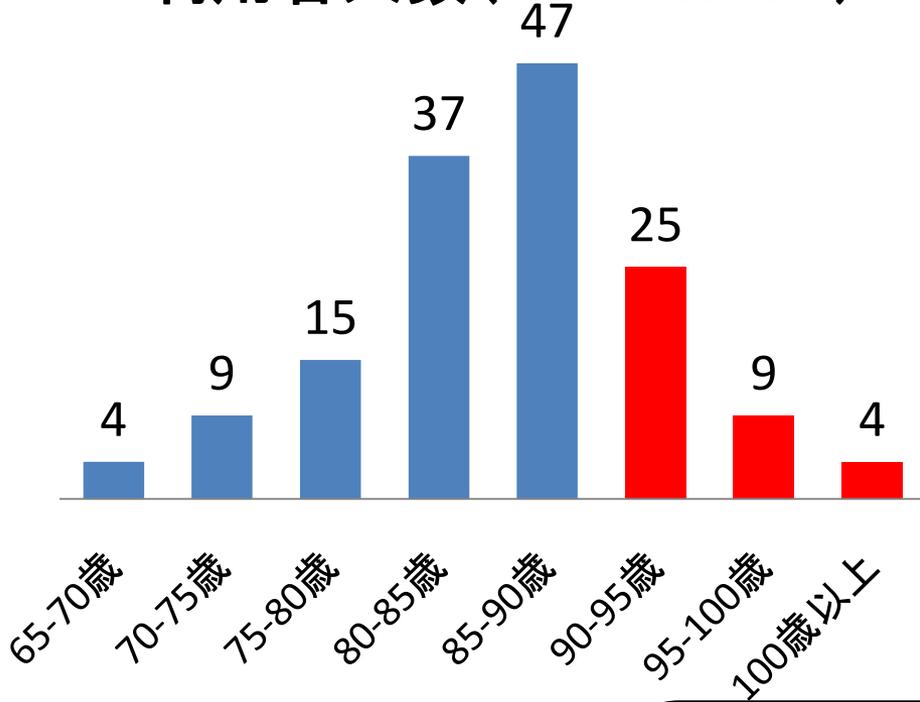


介護度1-3	42%	約63名
介護度4,5	58%	約87名

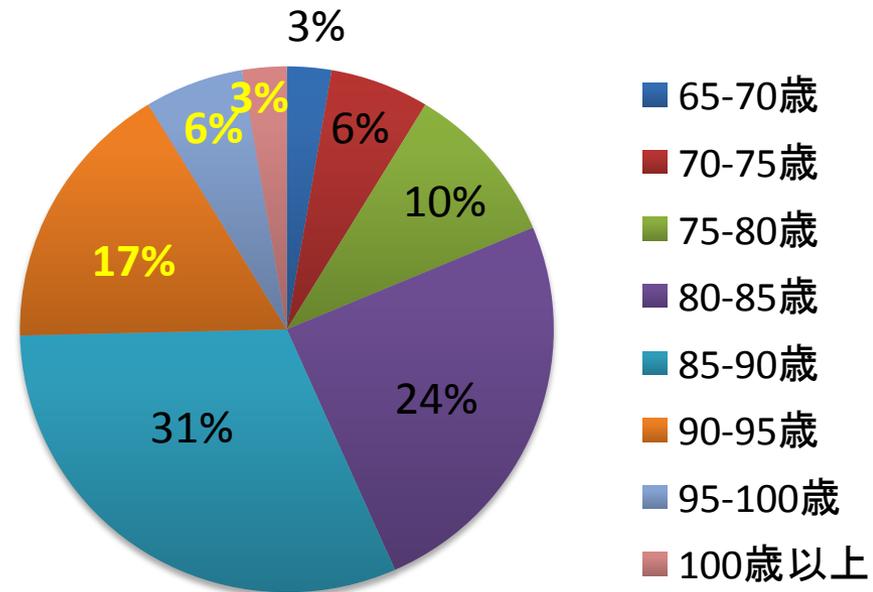
なんと60%近くが要介護4,5です！
特別養護老人ホーム並みの高介護度です

NE年齢別割合 (2012.3)

利用者人数 (H23.4-H24.3)



年齢別割合 (H23.4-H24.3)



85歳以上 57% 約85名

90歳以上 26% 約38名

2人に1人は85歳以上
4人に1人は90歳以上
というすさまじい高齢化です。

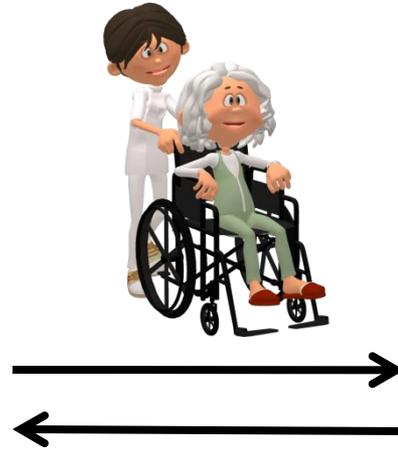
ニューエルダー 在宅支援プラン

- ① 低介護者を在宅支援しよう
- ② 入院患者の在宅復帰前に“回復期”としてNEを利用しよう
- ③ 空床を使って新規利用者を獲得しよう

在宅支援
がんばろう！



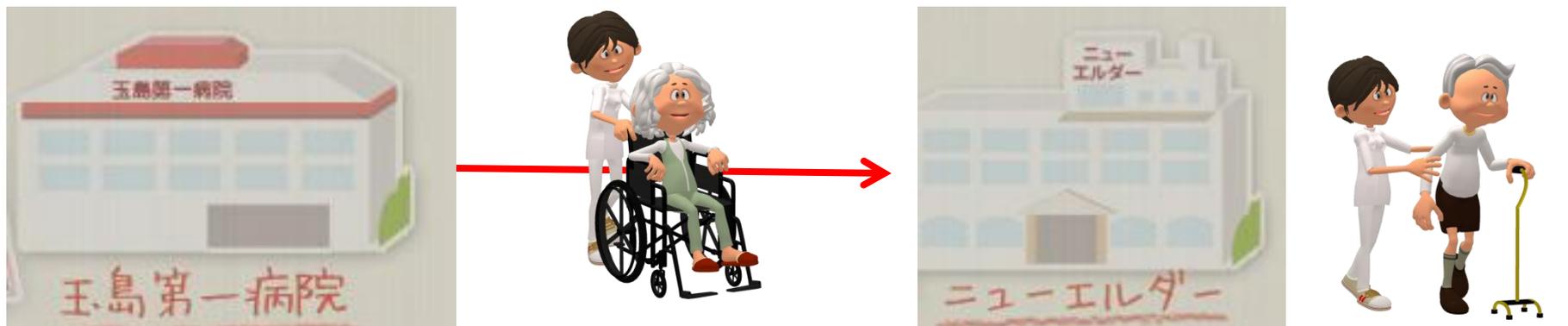
① 低介護者を在宅支援しよう



御自宅

- ・いままでは“入所したらずっと施設”というイメージがあった
- ・したがって低介護度の方でも、ほとんど在宅復帰していなかった
- ・今後は“NEはあくまで在宅復帰のための通過施設”という認識のもと、積極的に在宅支援をしよう

② 入院患者の在宅復帰前に “回復期”としてNEを利用しよう



- ・病院である程度回復後、NEで在宅支援
目的で入所いただく
- ・回復期リハビリテーションの役割も担う
- ・NEで自宅訪問、今後の居宅・通所サービスの
サポートを行う



御自宅

回復期として老健を使用する メリット・デメリット

○メリット

- ・ 患者さんがより長い間リハビリテーションが出来る
- ・ 居宅支援事業所を使用し、在宅に向けより手厚いサービスが提供できる

○デメリット

- ・ リハビリ中の病気、ADL低下など
- ・ たとえ途中で本入所を希望されても、老健定住化は在宅支援とはならない……



③ 空床を使って新規利用者を獲得しよう



在宅支援で
空いたベッド



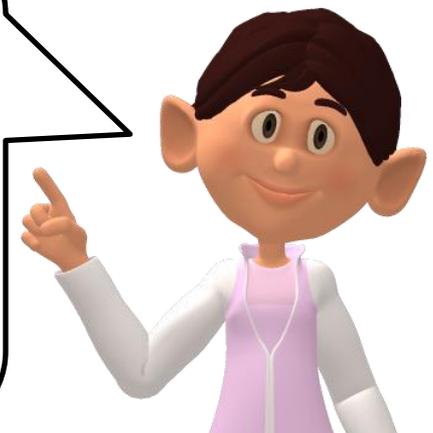
在宅自立の方だが、
短期でNEを利用したい

在宅自立の方でも、ご家族の都合や季節によっては、短期で老健入所希望される方がおられます。

短期入所契約の上で、NEを利用していただきます。

在宅支援での空床の利用です。

結果的に利用者の拡大になります。



円滑なチームプレーを！ ～在宅支援会議～

- 施設間カンファレンス
 - 水曜日予定（8:30病院カンファルーム）
 - 塩飽先生、老健・GH・有料・居宅スタッフ
西山、病院看護師、大島事務長
 - 在宅支援対象者の状況報告
および今後の対策

